



ツタンカーメンの黄金のマスク

-ツタンカーメンは、古代エジプト第18王朝のファラオ（在位：紀元前1333年頃 - 紀元前1324年頃）。即位した時点でまだ年端のゆかない少年であったことがわかっており、アメン信仰復活やその死について様々な推測が語られ、歴史のミステリーとされている。2005年1月に、ミイラの調査が行われた。骨折にマラリアが重なって死亡した可能性が高いことが、エジプト考古学チームによるDNA鑑定やコンピューター断層撮影装置(CT)の調査で分かった、と2010年2月、米医学誌が発表した。腐骨や内反足を患い、転倒して足を骨折しマラリアが命取りになったという。また歩くのにつえをつけていた虚弱な王だったとしている。(ウィキペディアフリー百科事典より抜粋)